

# 研究に関するお知らせ

この研究は、医療分野の公的統計を二次利用することで、医療資源配置の最適化に資するエビデンスを構築するためのものです。

## 【研究課題】

「量子アニーリングを用いた医療資源配置最適化シミュレーション」（審査番号 2020086NI）

## 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関	東京大学医学部附属病院
研究責任者	企画情報運営部 特任助教 川口英明
担当業務	データ収集・データ解析

## 【研究期間】

承認日～2024年3月31日

## 【対象となる医療機関】

この研究は、国から所定の手続きを得て入手した医療施設調査（平成26年度実施、平成29年度実施、令和2年度実施予定）の調査票情報を二次利用する研究ですので、該当する調査に回答された全ての医療機関が対象となります。

## 【研究の目的】

本研究では、医療分野の公的統計の調査票情報を、統計法で定める手順を経て入手し、医療資源に関する地域単位の統計情報を作成し、公開されている各種データベースと統合して解析することで、地域単位での医療資源の最適化を目指します。医療分野における既存統計データの利活用の方策を構築し、エビデンスに基づく保健医療政策に資する研究を行なうことを目的としています。

## 【研究の方法】

厚生労働省が行った医療施設調査の調査票情報の一部を、統計法に則った利用申請を行い、厚生労働省の許可を得てデータを取得します。対象となる医療機関は、調査に回答した全国の約18万施設（病院約8000施設、診療所10万施設、歯科診療所約7万施設）となります。医療機関の調査票情報（従事している医師の人数やCTの台数など、各種医療提供体制に関する情報）を地域単位にまとめ、既に公開されている統計情報とあわせて、地域単位での分析、医療資源配置最適化のシミュレーションを行います。

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。

国が集めた統計の調査票情報は、統計法上で定められた所定の手続きを取った上で、研究者がデータの利用を行うことが出来ることとされています。本研究では、医療施設調査の調査票情報の一部を厚生労働省大臣官房統計情報部より許可を得て入手・分析するものです。国から所定の手続きを得て入手したデータを二次的に解析する研究ですので、元々の調査対象である医療機関に対して新たに調査を行うものではありません。

### 【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。所定の手続きを取った上で国から収集したデータや中間生成物となるデータ等は、ネットワークから切り離されたコンピュータを使用し、セキュリティ機能の付いた USB メモリに保存し厳重に保管します。研究終了後、国から得た調査票情報は、提供されたディスクを裁断するなど、直ちに物理的に破棄します。USB メモリ内のデータについては、解析に用いる地域単位のデータは、成果を公表するため、研究終了後 5 年間保存の必要がありますが、それ以外の医療施設の個票データは研究終了後直ちに専用ソフトで復元できないように削除します。研究の成果は、各医療機関の情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌等で公表します。

この研究に関する費用は、日本学術振興会が実施する科学研究費助成事業（若手研究）から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2020 年 6 月 26 日

### 【問い合わせ先】

連絡担当者：川口英明

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学医学部附属病院 企画情報運営部

電話：03-5800-8685（内線 35245） FAX：03-3813-7238